



令和8年度4月実施 全国学力・学習状況調査の結果

問合先 学校教育課

(HP ☎ 23-3185)

小学6年生（義務教育学校6年生含む）と中学3年生（義務教育学校9年生含む）を対象に、国語、算数・数学、英語の学力（調査）と学習意欲や生活のことなどを調査する、「全国学力・学習状況調査」がありました。調査結果については各学校で分析し、課題を明らかにして具体的な対策を考え、授業の改善や家庭学習をはじめとする基本的な生活習慣の定着につなげます。

1 学力調査（正答率）

小学校（第6学年）

教科	正答率		
	全国	県	市
国語	60.9%	56.0%	52.0%
算数	56.4%	52.0%	49.0%

● 良好だった項目

国語 …「漢字を文の中で正しく使う」75.7%（知識・技能の観点）、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる」70.7%（思考・判断・表現の観点）

算数 …「十進位」93.4%、「帯グラフの」73.4%（知識・技能の観点）

● 課題がある項目

国語 …「引用して、自分の考えが伝わるように書き出しを工夫する」23.9%（思考・判断・表現の観点）

算数 …「基準量、比較量」24.8%（知識・技能の観点）

中学校（第3学年）

教科	正答率		
	全国	県	市
国語	63.9%	62.0%	61.0%
算数	57.0%	54.0%	50.0%
英語（IRT）	499	472	452

● 良好だった項目

国語 …「単語の活用について理解している」83.2%（知識・技能の観点）、「表現の効果を考えて描写する」93.3%（思考・判断・表現の観点）

数学 …「具体的な場面で正の数と負の数を用いて変化や状況を表す」81.2%、「同類項の意味を理解している」73.9%（ともに知識・技能の観点）

英語 …「日常的な話題で、目的に応じて必要な情報を聞き取る」77.5%、「置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取る」68.1%（思考・判断・表現の観点）

● 課題がある項目

国語 …「表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、良い点や改善点を見いだす」34.5%

数学 …「筋道を立てて考え、証明することができる」31.1%

英語 …「日常的な話題で、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く」19.4%（いずれも思考・判断・表現の観点）

IRTとは、国際的な学力調査に用いられるテスト理論で、500を基準としています。

2 質問紙（生活・意識）調査

小学校（第6学年）

■ 全国・県との比較で良好だった項目

・ いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか。

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全 国	96.2%	2.1%	0.8%
佐 賀 県	96.6%	1.9%	0.9%
伊万里市	96.9%	1.3%	1.1%

■ 全国・県との比較で課題がある項目

・ PC、タブレットなどICT機器を使って情報を整理することができる。

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全 国	69.5%	17.9%	4.8%
佐 賀 県	65.2%	21.4%	5.3%
伊万里市	61.2%	23.4%	7.6%

・ 家庭学習（塾等を含む）での勉強時間。（平日）

	2時間以上	1時間～2時間	1時間未満
全 国	21.6%	28.3%	49.3%
佐 賀 県	16.7%	26.2%	56.4%
伊万里市	12.0%	24.5%	62.6%

中学校（第3学年）

■ 全国・県との比較で良好だった項目

・ 将来の夢や目標をもっていますか。

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全 国	67.6%	20.5%	11.5%
佐 賀 県	69.1%	20.6%	10.0%
伊万里市	70.3%	19.4%	10.1%

■ 全国・県との比較で課題がある項目

・ 考えを発表するとき、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している。

	あてはまる【★】	あまりあてはまらない	あてはまらない
全 国	65.5%	22.9%	11.2%
佐 賀 県	59.4%	26.7%	13.5%
伊万里市	50.3%	29.1%	20.3%

・ 家庭学習（塾等を含む）での勉強時間。（平日）

	2時間以上	1時間～2時間	1時間未満
全 国	30.1%	31.5%	37.9%
佐 賀 県	17.9%	29.1%	52.6%
伊万里市	11.9%	27.3%	60.4%

無回答などにより、割合の計が100%にならないものがあります。

【★】…「あてはまる」は「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた数値

学校・家庭・地域の役割

伊万里で育つ子どもたちが、道徳教育などの充実を通して、いじめや差別を許さない心をもち続け、さまざまな困難も自分で創意工夫して解決する力を高めていることがわかります。さらに高めるために、学校・地域・家庭の役割が大切です。

■ 「きらき子ども」… 学校は教育の専門機関として、「知育・徳育・体育・食育」などを通して「きらき子ども」の育成に努めています。子どもたちが確かな学力を身に付けるため、上記調査結果においては、「基礎基本の定着」にも目を向け、「1人1台端末の有効活用」と掛け合わせて授業改善に取り組んでいきます。

■ 「ほかほか家庭」… 家庭は、教育の出発点として、基本的な生活習慣や社会における規範意識など、学校生活、社会生活などで必要な基礎的な素養を育てています。思いやりと愛情の中で個々を尊重し、協力し合う安らぎのある家庭の中で、コミュニケーションをより一層図っていくことが大切です。電子機器等は時間を決めるなどして上手に使い、家庭学習に取り組む習慣を付けることも大切です。

■ 「いきいき地域」… 地域は、人間性・社会性などを幅広く育む場として、多様な人材や資源を生かして学校や家庭の教育を支援しています。コミュニティ・スクールなどを活用し、地元ならではの様々な教育・学習活動の機会を提供し、子どもたちが地域の一員として「人の役に立っている」「貢献している」と実感し、自己有用感を高めることにつなげます。

広報

伊万里2026.11



黒木建設(株)が冷風機を寄付

9月1日、伊万里小学校で、気化式冷風機6台の贈呈式がありました。これは、黒木建設株式会社から寄付されたもので、同校の卒業生でもある黒木祐一郎社長は「児童の熱中症対策や学習環境の改善に役立ててほしい」と話しました。

冷風機は、水の気化熱を利用して周囲の空気を冷やすもので、贈呈式の後には、児童が冷風機から送られる涼しい風を体感していました。



寄付された気化式冷風機を体感する児童たち

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No.285

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。
これを機会に、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

問合先 生涯学習課人権・同和教育係 (HP ☎ 23-3186)

『うわさ』

日常の中で、誰かのうわさを耳にすることは珍しくありません。確認したわけでもないのに、まるで事実であるかのように、根拠のない情報が人から人へと伝わっていくことがあります。こうした『うわさ』は、本人が知らないところで広まり、名誉や信頼を傷つける深刻な問題になることもあります。

特に、出身地や進学、就職、家庭環境などに関する『うわさ』は、偏見や差別につながることもあります。話した本人に悪気がなくても、聞き間違いや誤解によって内容が変わったり、話を盛り上げるために大げさに伝えられたりすることがあります。また、自分に注目を集めるため、重大な出来事に便乗して、SNSなどでその情報を拡散し、社会を混乱させることもあります。

私たちがうわさを聞いたときに大切なのは、一部の情報だけで判断せず、本当に正しい情報なのかを確かめることです。そして、「誰かを傷つける内容ではないか」と一度立ち止まって考え、むやみに広めず、自分の言葉に責任を持つことが求められます。

うわさに流されず冷静に判断し、相手を思いやる心を持つことが、お互いの信頼関係を築き、良好な人間関係を保つことにつながります。うわさを止めるのも、広げるのも、私たち一人ひとりの意識にかかっています。一人ひとりが責任ある行動を心がけることが、誰もが安心して暮らせる社会につながります。

郷土の文化財

問合先 生涯学習課文化財係 (☎ 22-1262)

遺跡余話 古墳時代 伊万里湾の攻防 その6

5月から古墳時代における伊万里湾の攻防についてお話ししていますが、いよいよ最終編となります。

一般的に古墳は王墓として継続して造られるのですが、伊万里には杣路寺、夏崎、小島、銭亀の4基しか古墳がなく、築造も単発的で継続していません。

ところが、杣路寺古墳や夏崎古墳からは、畿内を中心に最大の権力を持っていた大和政権との強い関係を示す副葬品である鏡や甲冑が出土しています。このことから、伊万里湾をめぐる大和政権や朝鮮半島、さらに九州で大きな勢力を持っていた筑紫（現福岡県）の豪族である磐井氏との関係が見えてきます。

大和政権は朝鮮半島から鉄資源や土木などの先進技術を手に入しており、その玄関口として北部九州一帯を支配地としていました。伊万里湾は、その支配地の一番西端に位置しています。

杣路寺古墳が造られた4世紀末から5世紀初頭に、大和政権は朝鮮半島に出兵し、高句麗と戦っており、福岡、佐賀の玄界灘に面する沿岸地域は、その前線基地として重要性を増していました。

西端に位置する伊万里湾地域が大和政権と深く関わった理由として、伊万里湾地域が大和政権の影響下にあることを示し、大陸進出の前線基地である玄界灘沿岸を他の豪族から守るための警備拠点としての意味があったと考えられます。お話は次号に続きます。